

## 活動計画書 / 活動実施計画書

団体名： 名駅東花車・船入地区まちづくりの会

### 1 都市マスとの関連性（A～H、1～3をそれぞれ選択して記入してください。）

- C-1 多様な課題を共有して連携と助け合いですすめる災害に強いまちづくり  
F-2 これまでに形成された地域コミュニティや歴史資源を大切にしまちづくり

### 2 活動地域の特性、現況、課題

当地域は、都心ゾーンの中でも名古屋駅から徒歩圏内という利便性の高い立地でありながら、オフィスや店舗などの商業者だけでなく、代々住み続けている住人も多く、また、江戸時代の道幅がそのまま残っている道路があるところです。建物の維持・管理・建替問題、空き家問題、山車文化の継承問題、防災をめぐるハード・ソフトの両問題が混在しており、様々な立場における課題認識が多岐にわたる状況で、地域内の連携や連帯感を高める活動により、地域魅力の向上を目指していきたいと考えています。

### 3 団体の活動実績

※ 過去に地域まちづくりの助成を受けたことがある場合、その実績も含めて記入すること

- R2年12月 第1回勉強会…地域まちづくり活動と構想づくりについて  
R3年10月 地域交流イベント…まち歩きで歴史資源探訪、祭り文化(山車)の紹介解説  
R3年12月 第2回勉強会…錦二丁目の事例学習、意見を出し合うワークショップ  
R4年2月 地域アンケート調査…活動地域の住民・地権者・事業者を対象  
※上記はいずれも「構想づくり活動助成」を受けて実施したものです

### 4 助成を受けようとする活動の目的

#### (1) 地域アンケート結果を踏まえた「明るい未来を考える勉強会」

現状への課題・地域の将来像・まちづくりの取組み方向など、構想づくりに必要な共通認識の形成を図り、相互理解を深めます

#### (2) 地域のお店や歴史を発見する「地域交流イベント」

地域のすべての住民・地権者・来訪者が参加可能で楽しめるイベントとし、新たな出会いで連携を深めます

#### (3) まちの将来像を考える「構想づくり勉強会」

地域から幅広い理解と信頼を得られるまちづくり活動にするため、共通課題への解決策を地域全体で考え、構想づくり基本方針の作成を前進させます

### 5 活動による今年度の成果目標

地域連携と相互理解を高める活動により、まちの将来像を考える上で盛り込むべき要素を取りまとめ、構造づくり基本方針(案)の作成を進めます。

## 6 助成を受けようとする今年度の活動内容

### (1) 地域アンケート結果を踏まえた「明るい未来を考える勉強会」

第2回勉強会(R3年12月)と地域アンケート調査(R4年2月)の結果を踏まえ、両活動に助言・協力いただいた名古屋市の地域まちづくりアドバイザー〔藤森幹人様〕に講師を依頼し、構想づくりの進め方を学びます。参加対象者は、地域住民・地権者・事業者など前回のアンケート配布者に加え、当会の活動支援を呼びかけたい関係者とし、まちづくりへの期待や不安などの意見や思いも出し合える勉強会とします。

### (2) 地域のお店や歴史を発見する「地域交流イベント」

地域内の神社の境内などを会場とし、地域のお店の出店と歴史資源の紹介を行い、まちづくりの会の活動に参加されなかった人々との交流や連携ができるイベントとします。過去の活動で寄せられた意見を参考に、開催日を日曜日とし、SDGsの取組に積極的な企業の参加や協力要請も検討します。

### (3) まちの将来像を考える「構想づくり勉強会」

地域まちづくりの関連分野を研究されている先生を講師に招き、具体的な地域課題とウォークアブル(\*)なまちづくりを題材に取り上げ、構想づくり基本方針の在り方とその進め方について学習します。参加者による意見発表や議論も行い、当会の持続的な活動推進と次のステップへとつなげていくための勉強会とします。

(\*) 「歩いて楽しい」との意味で、国土交通省による「居心地が良く歩きたくなる」と同義

## 7 今年度の活動実施の際に協力や調整等が必要となる関係者等

- ① **名古屋市**・・・地域まちづくりの推進、都市計画に係る許認可、花車ビル三館の建設(市街地改造事業施行)の行政主体であり、構想づくりに向けて総合的な助言、指導、協力をいただき活動実施を図る考えです。
- ② **花車ビル三館の各管理組合**・・・経年に伴う修繕や建替の計画は本地域まちづくりに大きく関わりがあり、組合員も多いことから、三館の管理組合それぞれに組合会員として参加を要請し、連携を図っていく考えです。
- ③ **町内会(5団体)、子供会、新明学区**・・・構想づくりへ進める各ステップにおいて、地域コミュニティを構成する組織と相互に協力できる関係は重要であり、情報交換や調整を図りながら活動していく考えです。
- ④ **山車保存会**・・・構想づくりには、貴重な山車文化のこれからの継承・保存も重要なテーマと考えられるので、そのために当会が果たせる役割の観点から協力関係を築いていく考えです。

## 8 今年度の活動内容のスケジュール

年 月	活 動 内 容
R4年7月7日(木)	会員総会(今年度の活動内容の告知)
R4年9月3日(土)	明るい未来を考える勉強会
R4年10月2日(日)	地域交流イベント ※日程変更の可能性あり
R4年11月11日(金)	構想づくり勉強会 ※日程変更の可能性あり
R5年2月	構造づくり基本方針(案)の作成

※ この様式は公開されます。

## 9 (構想策定・実践目的達成) までの想定プロセスと以後の展望

### 構想の策定までのプロセス

ステップ1：地域つながり活動、勉強会の開催、地域へのアンケート調査

～地域の人との相互理解～

ステップ2：構想づくり基本方針の作成と地域内関係協議

～まちの将来像を考える～

ステップ3：構想づくり方針の作成と地域内関係合意の形成

～機運を成して計画を立てる～

ステップ4：まちづくり構想の策定

～地域の人々とビジョンをつくる～

※各ステップは必ずしも年度単位で想定したものではありません。

上記のステップを想定しており、今年度(R4年4月～R5年3月)はステップ1から2に移行していく時期ととらえています。

特に、当会の活動地域では住民・地権者・事業者・来訪者など関係主体が多様であることから、ステップ1のプロセスが重要であると認識しております。そこで、当会の活動内容が各立場の人々の未来にも関係があると認知いただけるよう、その意識変容をもたらすための取組を企画し、誰もが気軽に参加したくなるような行動変容を促す活動が必要であると考えています。

### 構想策定後の展望

当会の活動地域の周辺では、リニア中央新幹線の開業や名古屋鉄道を中心とした駅前ビルの建替、地下鉄柳橋駅の新設計画案など、都市機能の変容が起きつつあります。そんな中、まちづくり構想の策定のために計画を練り上げていく過程こそが、構想実現のための担い手を一人でも多く巻き込んでいくことにつながり、地域連携を高めて地域の活性化に資するものと考えています。

そこで、当会は策定した構想を活動地域に対して「明るい未来に向けた地域の将来像(地域ビジョン)」として提案し、構想実現に向けて動き出すプロセスにおいても、地域連携の要としての役割を発揮し、まちを育て地域魅力を向上させていくために、引き続き主体的に活動していきたいと考えています。

『住んでよし、働いてよし、楽しんでよし、のまちづくり』を進めて参ります。

※ 各欄のサイズ変更は可能ですが、3ページを超えないように作成してください。

※ 用紙の大きさは日本産業規格 A4 とする。

※ この様式は公開されます。